

デジタル技術の利活用及び状況把握について



内閣府 (防災担当)

避難生活の環境変化に対応した支援の実施に関する検討会 (第6回)
令和5年12月22日 (金)



- ◆ 避難所以外の避難者等の支援について、デジタル技術の利活用等により、効率的に実施できる部分をどのように考えるか。

- ◆ 自治体がデジタル技術や個人情報の利活用を進めるに当たっての課題をどのように考えるか。
 - 状況把握における標準の項目について
 - 個人情報の利用目的・提供の範囲について

避難者等の情報の収集・集約・利用における デジタル技術の活用について



論点の中間整理

- ・被災者のデータの収集・集約・利用について、**新規に情報の入力や整理作業を行うことは担当者の大きな負担**となるため、内閣府が構築しているクラウド型被災者支援システムなどのデジタル技術を活用する等、負担軽減、業務の効率化を図ることを検討すべきである。
- ・情報を収集するだけでなく、それを集約、関係者間で共有、協議し、利用することが重要であり、集約方法のマニュアル化や関係部局が横断的に共通のデータベースを使用することが効果的である。利用の観点では、収集した情報から、**支援が必要な人を抽出できるようにすべき**である。
- ・本人が情報発信できる避難者等については、スマートフォンアプリ、インターネット上のサイト等を利用し本人からの**情報発信**を促し、避難者等の被災状況について情報を集約し、支援につなげることが効率的である。





第5回での意見

- ・デジタル技術の利活用について、システムにおいてもまずはデータベース化を行い、それぞれの自治体で必要なカスタマイズを行った上で、分析を行い医療が必要な方や弁護士につなぐ必要がある方などをクロス集計でき、マッピングができるシステムが必要になるのではないか。こうしたシステムを整備することで自治体の負担軽減につながるとともに、広域的な被災者支援も進むのではないかと。
- ・在宅避難者等の状況把握について、避難所外避難者等の支援に当たり、まず避難者の健康状態を把握することが重要であり、保健師、民間の支援団体、福祉事業者等の戸別訪問による避難者一人一人の状況把握を効率的・効果的に実施しなければならないのではないかと。そのためには、情報の連携体制やICTを活用したシステムを構築するとともに、被災者の個人情報を取り扱うために収集した情報を災害時に利用することを明示し、避難者等の個人情報が適切に保護されることが必要になるのではないかと。
- ・デジタル技術の活用について、国においてもクラウド型被災者支援システムをはじめ次期防災情報システムなど様々なシステムを構築しているが、こうしたシステムを連携させて一体的に整備していくことで、現場となる市町村や支援団体なども使用できる使い勝手のよいものにしていくことも必要ではないかと。
- ・被災地行政に負担をかけないためにデジタル技術を用いて支援組織を可視化することについて、大きなシステムであると個人情報や各自治体の状況に応じたカスタムが難しくなるという課題があるため、例えばシステムをクラウドに置いてそれをダウンロードしてもらい、各自治体においてカスタムできるような比較的軽いシステムの方がいいのではないかと。
- ・システムについては、被災地の行政だけでなく、外部支援者の方が登録するメリットがあるものとする必要があり、平時にその地域にいらっしゃる業者や支援組織の方をデータ化しておき、外部支援者が戻ったときに引き継ぎの相手を明確化することも必要ではないかと。





市町村

避難者等の情報の集約

関係部局

被災者等の情報の利用

関係部局

・クラウド型被災者支援システムなど統一の台帳システムの利用
等

関係部局

とりまとめ部局
(災害対策本部)

市町村からの情報提供

・市町村による情報発信
(アプリ等の活用、HPでの情報発信、紙面の投げ込み、アウトリーチ時の配布等)

市町村による情報収集

・避難者等による情報発信
(アプリ等の活用)
・市町村によるアウトリーチの実施
(統一様式の活用)

避難者等

・避難所
・在宅
・車中泊
・親戚・知人宅
等

民間の支援団体の活動状況を市町村に共有

・活動期間、場所、専門性といった内容について登録
(アプリ等の活用)



被害情報や避難者等情報の共有

・被害状況や行政の対応について情報提供
・市町村の有する被災者に関する情報の提供
(個人情報保護法の範囲内)

・民間の支援団体が収集した避難者等の情報の市町村への提供
(統一様式の活用)



民間の支援団体による情報収集

・アウトリーチの実施
(統一様式の活用)

民間の支援団体

・社会福祉協議会
・福祉事業者
・日本赤十字

・医療機関
・NPO等民間団体
等

デジタル庁の実証実験アプリについて（収集・発信）



- デジタル庁では、デジタル技術を活用した避難者支援業務の業務改善に関する実証実験を実施中。
- 避難先の選択画面において、車中泊、個人宅を選択することができ、避難場所を登録した上で、物資や薬の不足状況、家族の情報についてアプリ上で登録し、市町村に情報を登録することが可能。
- 当該アプリのソースについては、希望した自治体などに提供している。



(参考)

令和5年度避難者支援業務のデジタル化に係る実証事業の概要（デジタル庁）

○マイナンバーカードやスマホアプリを活用した避難所運営、在宅避難者を含めた被災者のニーズや状況把握等に関する実証実験を実施中

入所手続き



手書きとマイナンバーカード利用で、それぞれかかった時間を計測

報告書作成



薬剤情報等の取得

マイナンバーカードでマイナポータル※1へアクセスし、薬剤情報等を取得したうえで、巡回医師の診察を受診。

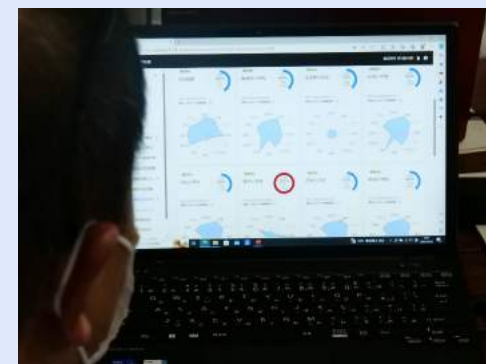


アプリによる状況把握

避難者アプリ画面



ダッシュボード画面



入所手続きについて、マイナンバーカードを使用した場合には約26秒で終了し、手書きの場合の約10倍の速さ（約10分の1の時間）で実施できたほか、避難所の状況を市の対策本部へ報告するための報告書作成時間をデジタル化により50.7%の業務削減できた等、デジタル化の効果を確認

※1 マイナポータルはダミーアプリを使用。

D-VICS (収集・集約)



- 被災者情報収集システム (D-VICS) は、厚生労働科学特別研究事業により開発された、災害時に個々の被災者の安否確認や避難生活状況の確認、支援ニーズ等の把握を行うシステム。
- LINEアプリケーション内でwebブラウザを開き、アセスメント調査票の入力を行うことができるほか、チャットボットを活用して、発災後の安否確認や避難場所の登録などを行うことが可能。
- D-VICSのデータをCSVで出力できるため、台帳機能を有するシステムなどとの連携も可能。

発災後の安否確認

The screenshots show the user interface for disaster aftermath confirmation. It starts with a message: 「発災後安否確認」への回答のお願い (Request for response to disaster aftermath confirmation). The user is asked to provide location information. A map is shown with a location pin. The user is then asked: 「今、身を置いているのはどこですか。」 (Where are you currently located?). The user can select from options: 自宅 (Home), 避難所 (Evacuation center), 親戚・知人宅 (Relative's/ acquaintance's home), ホテルや旅館 (Hotel or inn), and 車の中 (In the car).

被災者アセスメント調査票の入力

The screenshots show the user interface for disaster assessment survey input. It starts with a message: 規約を確認後、「規約に同意してログイン」からログインすることで利用が開始できます。 (After confirming the terms, you can start using the app by logging in with 'I agree to the terms'). The user is asked to select a survey form: 被災者アセスメント調査票 (Disaster assessment survey form). The user is then taken to a web browser to input the survey form. The form includes fields for: 郵便番号 (郵便番号はハイフンなしで入力してください。例: 6810001) (Postal code), 生年月日 (誕生日はyyyyymmddの形式で入力してください。例: 1980年9月01日 → 19800901) (Date of birth), 姓 (漢字または英文字) (Surname), 名 (漢字または英文字) (First name), セイ (カタカナ) (Surname in katakana), and メイ (カタカナ) (First name in katakana).

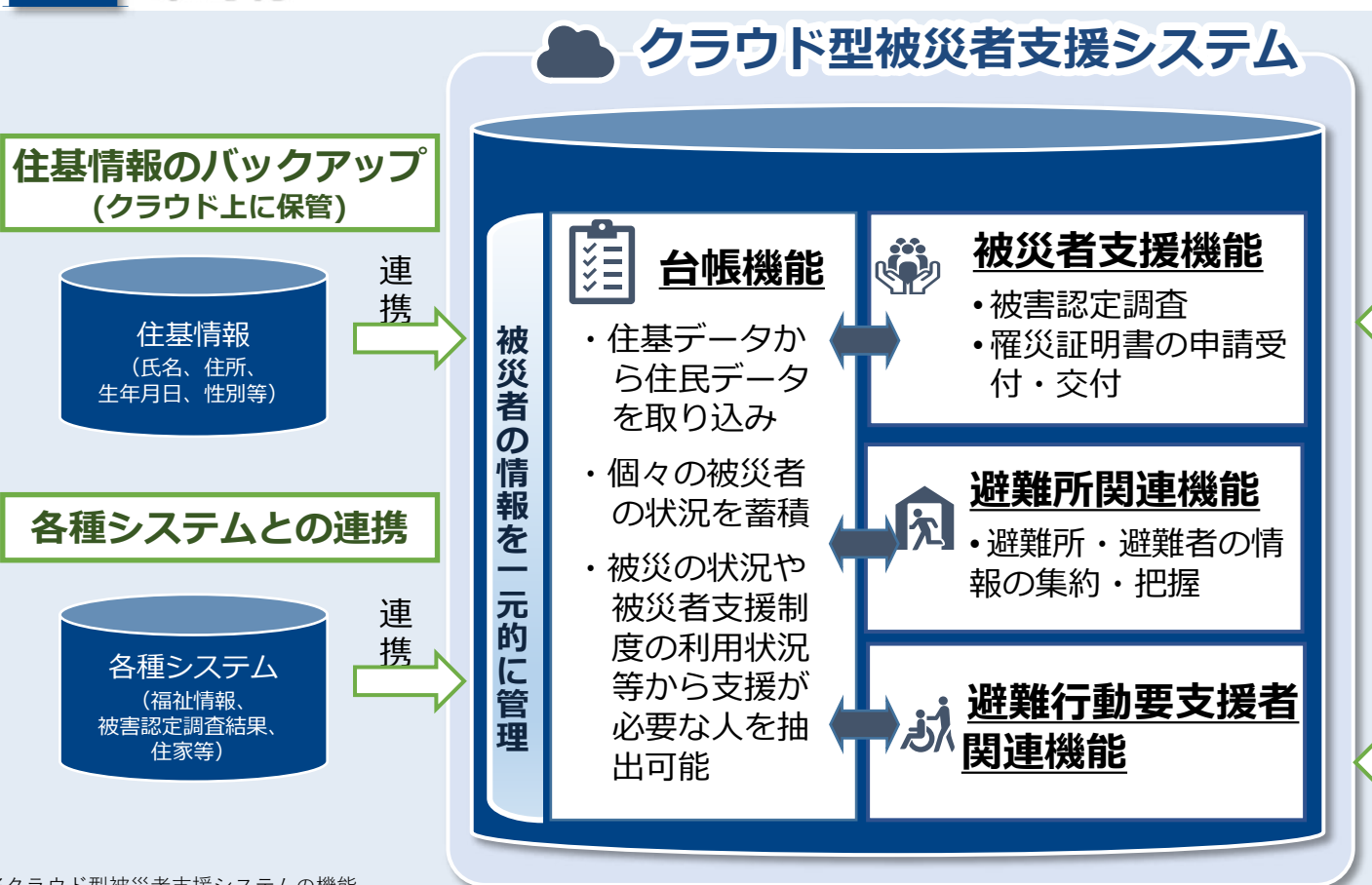
- ・LINEトーク上ではなく、LINEアプリケーション内でwebブラウザを開き、個人情報を登録
- ・ブラウザにはLINE IDがパラメータとして渡されており、個人情報と合わせてD-VICSに保存

クラウド型被災者支援システム（集約・利用）

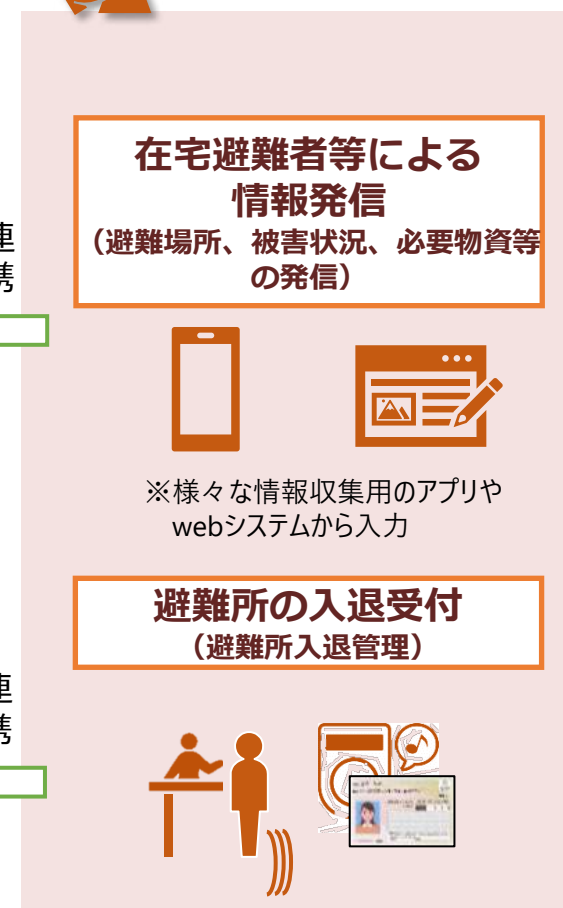


- 内閣府は被災者支援業務の効率化のために、クラウド型被災者支援システムを開発。現在、J-LISが運用している。
- 避難所運営からその後の被災者支援まで、一つの台帳の横断的な運用により支援が可能。
- 様々なシステム・アプリ等で収集した避難者等の情報をCSVファイルを介して、一元的に集約、利用することができ、効率的な被災者支援に資する。

市町村



被災者等



※クラウド型被災者支援システムの機能のうち、台帳機能を中心に作成。

クラウド型被災者支援システム（時系列ごとの取組）



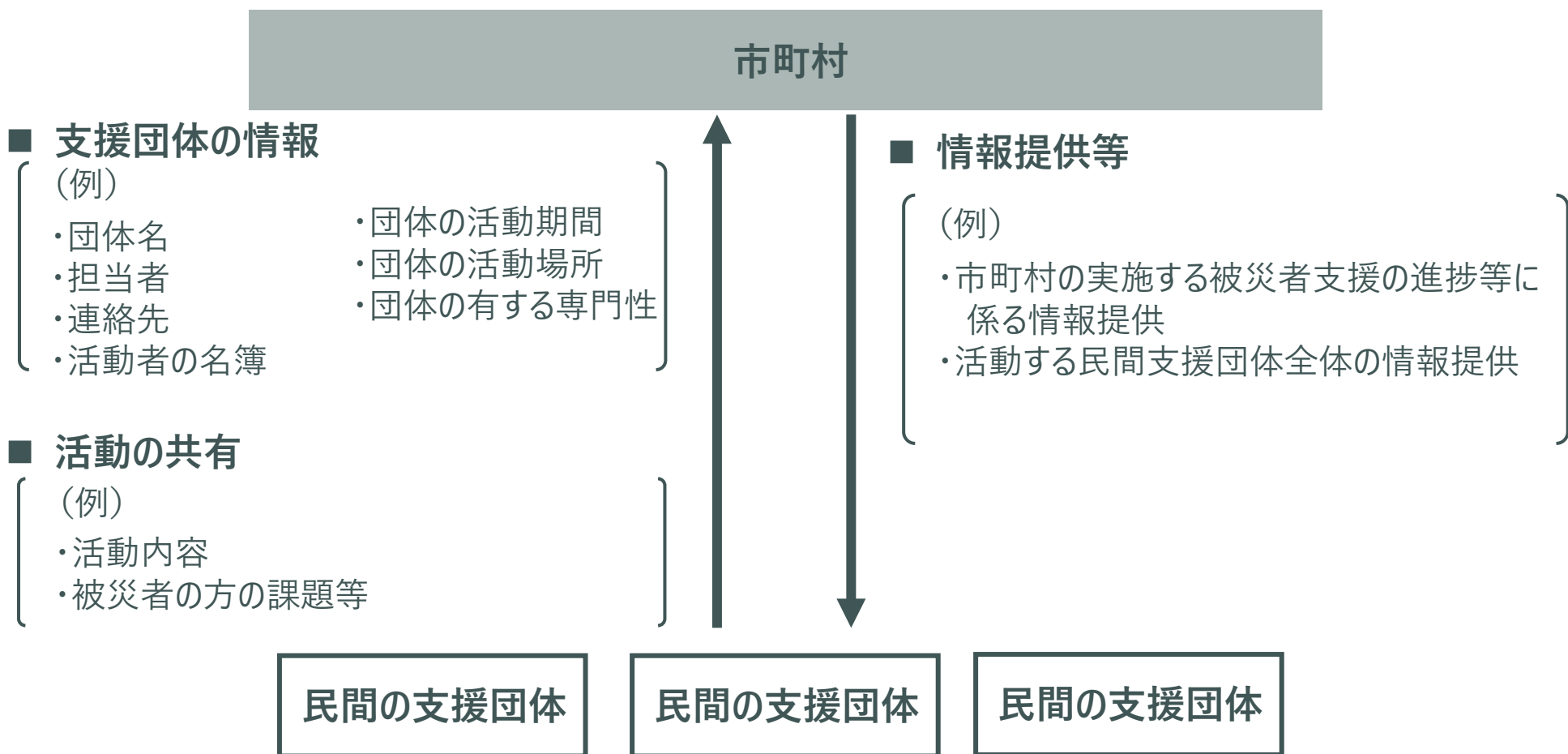
- クラウド型被災者支援システムは、避難行動要支援者名簿や個別避難計画の作成、管理にも活用でき、平時からの利用が可能。
- 発災後は、避難所運営からその後の被災者支援まで、台帳の横断的な運用により、同一のデータベースを用いて支援が可能。
- 台帳機能では、ユーザー定義台帳機能があり、自治体が自ら記載項目を追加することができ、災害ケースマネジメントを実施するためのツールとしても活用できる。



民間の支援団体の活動状況の共有について



- 民間の支援団体との連携に当たっては、市町村側としては、被災地にどのような民間支援が入って活動をしているのか、また、その団体が信頼できる団体なのかかわからないといった課題がある。
- 民間の支援団体側としても、自組織の立ち位置や行政の支援との連携が不足することで非効率が発生するといった課題があると考えられる。
- 避難所以外の避難者の支援を行うためには、外助との連携も重要であり、市町村と支援に来ていただく民間支援団体との情報共有が重要。



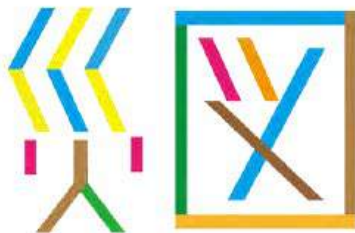


- 支援活動のための情報共有を目的に、特定非営利活動法人岡山NPOセンターは、災害時の情報共有が円滑に進むシステムづくりをジャンププラットフォームによる休眠預金等活用事業として「災凶」を開発。
- 支援の要否を迅速かつ視覚的に把握すること、支援団体間の調整を的確かつ迅速に行い、物資・人員を効率よく運営することを目標としている。
- 被災地域の状況の見える化、支援活動のタイムラインの表示、活動予定の登録・参照（開発中）などの機能を有することから行政機関との連携にも役立つものと考えられる。

支援先の支援状況リアルタイム共有アプリ「災凶」

岡山NPOセンターの事業として、災害時の情報共有が円滑に進むシステムづくりをジャンププラットフォームによる休眠預金等活用事業として行っています。支援が必要な場所ごとの状況・課題・現状の支援とその差引と予測で必要な支援を見出し、リアルタイムで動きが共有できることを目指しています。各種共有した情報によりニーズシーズのマッチングの迅速化、カルテや地図としてのアウトプット、団体の報告業務の簡素化などの効果を期待しています。

災害支援情報共有システム



災図について②



支援する人たちと素早く情報共有できます

支援内容

福祉支援 食と栄養 子ども 物資 保健医療福祉/要配慮者 外国人 ペット 家園保全

葬しの再障 その他

保健医療福祉/要配慮者

ケース

OK 一部課題あり 非常に課題あり メモ

メモを入力してください

現場整備

OK 一部課題あり 非常に課題あり メモ

メモを入力してください

物資など

OK 一部課題あり 非常に課題あり メモ

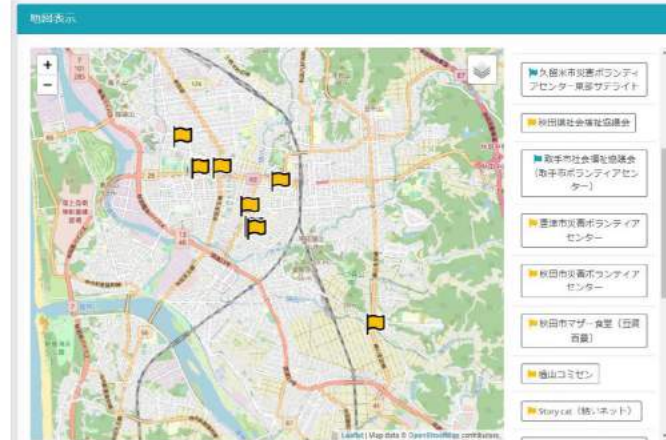
メモを入力してください

他の団体と共有したい情報を、チェック動作だけで、簡単に共有できます。

共有した情報は、トップ画面、地図表示およびタイムラインなどを通して共有されます。

「災図」を使うことで、共有した情報は、すぐにその他の団体でもみることができます。

被災地域の状況を見える化します



地図表示でも、支援先の状況を“青”、“黄”、“赤”で表わすことで、地理的な関係をみながら、支援先の状況を確認することができます。

支援先の“今”を見える化します



支援活動を時間経過にあわせてみるができます。

支援団体が入力した情報は、トップ画面の「タイムライン」に時系列で表示されます。

タイムライン上で記事を選択すると、詳細内容の確認も可能です。

活動予定の登録・参照ができます (開発中)

支援先ビュー (1/2)

支援団体名 ○○小学校

状況	支援種別(大)	2023							
		6月	7月						
		30	1	2	3	4	5	6	7
<input checked="" type="checkbox"/>	巡回支援		支援団体名 支援種別						
<input checked="" type="checkbox"/>	環境・衛生		支援団体名 支援種別						
<input checked="" type="checkbox"/>	物資		支援団体名 支援種別						
<input checked="" type="checkbox"/>	食事・炊き出し		支援団体名 支援種別						
<input checked="" type="checkbox"/>	その他		支援団体名 支援種別						

自団体の支援予定を登録したり、他団体支援予定を参照することができます。

支援先ごとに支援予定を表示することで、状況が良くない支援先が把握し、より効率的な支援スケジュールを考えることができます。

(画面はイメージです)



- ◇ 避難者等の状況把握に当たっては、情報を収集する人の負担を軽減しながら実施することが必要であり、避難者等が自ら情報発信を行うことを促進すべきと考えられるかどうか。
- ◇ 避難者等の状況把握や支援において支援に携わる関係者との連携（外助との連携）が重要であり、必要な情報の共有にデジタル技術を活用することが効果的と考えられるかどうか。
- ◇ 内閣府では、クラウド型被災者支援システムを開発しているほか、様々な主体が情報収集用のアプリやシステムの開発・実証を進めているところ。こうしたシステムを地方公共団体が自らのニーズに応じ、組み合わせて利活用することで、効率的に避難者等の情報の収集、集約、利用を行うことができると考えられるかどうか。

標準的な情報収集の項目、個人情報の保護と利活用等 について



論点の中間整理

- ・民間支援団体と個人情報の共有を適切に実施するため、避難者等から情報を収集する際に、**個人情報の利用目的や共有範囲を適切に明示する必要がある**ことに留意する必要がある。
- ・様々な主体が連携して情報を収集する観点からは、**統一された調査票**を利用することが望ましいことから、平時から地域の実情に応じた共通の調査票を作成しておくべき（調査票の標準化）である。
- ・特定の分野に精通した専門家でしか収集できない情報と、誰でも共通して収集可能なもので何度も収集することは避けるべき情報があり、情報の質を踏まえ、**関係者で協働して被災者のカルテをつくる**といった取組が重要である。
- ・情報連携の仕組みの整備に当たっては、避難者等の個人情報についても引き継げるよう、平時や応急期の情報収集の際に、個人情報に係る**利用目的を適切に明示**すべきであることに留意することが必要である。
- ・要配慮者の服薬情報や平時の福祉サービスの利用状況等は、災害発生時の支援に当たっても重要な情報となるため、こういった情報について**災害時に利活用**することを想定して平時から**対策を実施**することが必要である。
- ・例えば、福祉サービスの利用開始時に収集する情報など、平時に、収集する情報について、**各所管部局が当該情報を収集する際に、災害時に利用**することを利用目的に明示しておくことを一般化すべきである。

第5回での意見

- ・避難所外避難者等の支援に当たり、まず避難者の健康状態を把握することが重要であり、保健師、民間の支援団体、福祉事業者等の戸別訪問による避難者一人一人の状況把握を効率的・効果的に実施しなければならないのではないか。そのためには、情報の連携体制やICTを活用したシステムを構築するとともに、被災者の個人情報を取り扱うために収集した情報を災害時に利用することを明示し、**避難者等の個人情報**が**適切に保護**されることが必要になるのではないか。
- ・情報把握の調査票について、地域の実情に応じてと記載がなされているが、内閣府が**標準となる様式を示す必要がある**のではないか。
- ・情報収集における利用目的の明示について、**アセスメントシート**の共通化と併せて、**個人情報共有の同意の取り方**についても**具体的に示す**ことで取組も広がるのではないか。





- 様々な主体が連携して情報を収集する観点からは、統一された調査票を利用することが望ましいことから、平時から地域の実情に応じた様々な主体が共通で利用する調査票を作成しておくべきと考えられる。
- この点、自治体が調査票の内容を検討するに当たって参考となるような、標準的な項目を国において示すこととしてはどうか。

■ 調査票の内容として考えられる項目について

1. 基礎情報
 - ・氏名、世帯情報、避難場所 等
2. 被災状況
 - ・家屋の被害状況
 - ・制度の申請状況 等
3. 現在の生活環境と健康面について
 - ・既往症の有無
 - ・福祉サービスの利用状況
 - ・避難生活の状況 等
4. 今後の生活再建について
 - ・今後の住まいの予定 等
5. その他

■ 発災後の時間経過ごとに必要となる項目の整理について

- ・把握が必要な情報は、発災直後に確認すべきものから、発災から数日、数週間がたたないと明らかにならないものなど様々であることから、把握すべきタイミング目安を示すことも効果的と考えられる。
- ・項目の整理に当たっては、把握すべきタイミングについても併せて検討を行うこととし、3つの時期を設定する。

- A：発災直後～1日
- B：3日～
- C：1・2週間後～



状況把握における標準的な項目（案）



1. 基礎情報

1. 基礎情報

記入日時： 年 月 日 () 時 分

記入者の氏名：

記入者の生年月日： 年 月 日 年齢： 歳 性別：

世帯主の氏名：

世帯主の生年月日： 年 月 日 年齢： 歳 性別：

世帯人数（記入者含む）： 名

世帯構成：

- 高齢者のみ 乳児 幼児 小学生 中学生 高校生 妊産婦がいる（妊娠週数： ）
 入院中の者がいる 施設入所中の者がいる 障害者がいる 要介護者がいる 外国人がいる
 ペットがいる〔種類： 〕
 その他〔 〕

現在の避難生活場所

- 避難所〔場所： 〕
 自宅 知人宅 車中泊〔場所： 〕
 その他〔 〕

（避難所以外の避難者等）避難所・支援拠点による支援の利用（又は利用予定）

- 利用している（利用している避難所・支援拠点〔場所： 〕）
→ 応急給水 食事 トイレ 生活物資 入浴 行政やボランティア等から提供される各種情報
 利用していない

自宅住所：

固定電話： 携帯電話：

自宅の形態：

- 持ち家 借家・賃貸 その他〔 〕

状況把握における標準的な項目（案）



2. 被災状況について

※ 状況把握を行う時期をA：発災直後～1日 B：3日～ C：1・2週間後～ の3つに区分し、時期別に状況把握が必要と考えられる項目に○印を記載している。



2. 被災状況について		A	B	C
罹災証明申請	<input type="checkbox"/> 申請済み → <input type="checkbox"/> 未発行 <input type="checkbox"/> 発行済み〔 <input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 床下浸水〕 <input type="checkbox"/> 未申請〔申請していない理由： _____ 〕			○
ライフライン等の復旧状況	<input type="checkbox"/> 全て復旧している <input type="checkbox"/> 復旧がまだのものがある → <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> お風呂 <input type="checkbox"/> 給湯器 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> インターネット通信 <input type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 冷蔵庫 <input type="checkbox"/> 電子レンジ <input type="checkbox"/> エアコン <input type="checkbox"/> その他〔 _____ 〕	○	○	○
家屋（建物）の被害状況	<input type="checkbox"/> 家屋に極めて大きな被害があった（家が流れてしまった、家が倒壊した、家が土砂によって埋没したなど） <input type="checkbox"/> 家屋に修繕が必要な程度の大きな被害があった（瓦が落ちた、外壁がはがれたなど） <input type="checkbox"/> 家屋に被害があった → 被害の概況：〔 _____ 〕 <input type="checkbox"/> 被害はなかった	○	○	
被災後の片付け	<input type="checkbox"/> 自分や家族、知人等で片付け・清掃を行い、完了した <input type="checkbox"/> 災害ボランティアセンターへ依頼した → 依頼内容：〔 _____ 〕 現状： <input type="checkbox"/> 活動が完了した <input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 追加で頼みたい <input type="checkbox"/> まだ来ていない <input type="checkbox"/> 災害ボランティアセンターへ依頼していない → 理由： <input type="checkbox"/> 頼み方が分からない <input type="checkbox"/> 連絡手段がない <input type="checkbox"/> 何を頼めるのか分からない <input type="checkbox"/> 災害ボランティアセンターを知らない <input type="checkbox"/> ボランティアに入ってほしくない <input type="checkbox"/> その他〔 _____ 〕			○ ○

状況把握における標準的な項目（案）



3. 現在の生活環境と健康面について

※ 状況把握を行う時期をA：発災直後～1日 B：3日～ C：1・2週間後～ の3つに区分し、時期別に状況把握が必要と考えられる項目に○印を記載している。



3. 現在の生活環境と健康面について

A B C

既往歴・治療中、医療サポートの利用状況	<input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 持病がある〔誰が： 病名： 〕 <input type="checkbox"/> 高血圧〔誰が： 〕 <input type="checkbox"/> 糖尿病〔誰が： 〕 <input type="checkbox"/> 人工呼吸器を利用している〔誰が： 〕 <input type="checkbox"/> 在宅酸素〔誰が： 〕 <input type="checkbox"/> 透析〔誰が： 〕 <input type="checkbox"/> インスリン注射〔誰が： 〕 <input type="checkbox"/> 緊急性のある精神疾患〔誰が： 〕 <input type="checkbox"/> 緊急治療歯科疾患〔誰が： 〕 <input type="checkbox"/> 要緊急処置妊婦〔誰が： 〕〔 <input type="checkbox"/> 産科 <input type="checkbox"/> 非産科 合併症： 〕 <input type="checkbox"/> 定期的投薬が必要（現在、〔中断・継続〕） → <input type="checkbox"/> 降圧薬 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 向精神薬 <input type="checkbox"/> その他 →〔誰が： 医薬品名： 〕	○		
今ある症状	<input type="checkbox"/> 痛み（膝、腰、ほか）〔誰が： 〕 <input type="checkbox"/> けが〔誰が： 〕 <input type="checkbox"/> 風邪等（熱、だるさ、咳等）〔誰が： 〕 <input type="checkbox"/> その他〔 〕〔誰が： 〕	○	○	○
受診の状況	<input type="checkbox"/> 受診する必要がない <input type="checkbox"/> 問題なく受診できている〔誰が： 病院名： 〕 <input type="checkbox"/> 受診できていない/困難がある〔誰が： 〕 → 理由： <input type="checkbox"/> 病院が開いていない <input type="checkbox"/> 移動手段がない <input type="checkbox"/> 行く時間がない <input type="checkbox"/> 行く気が起きない <input type="checkbox"/> その他〔 〕	○	○	○
内服の状況	<input type="checkbox"/> 薬を服用していない <input type="checkbox"/> 問題なく服用できている〔誰が： 〕 <input type="checkbox"/> 服用できていない/困難がある〔誰が： 〕 → 理由： <input type="checkbox"/> 受診できていない <input type="checkbox"/> 薬局が開いていない <input type="checkbox"/> 移動手段がない <input type="checkbox"/> 行く時間がない <input type="checkbox"/> 行く気が起きない <input type="checkbox"/> その他〔 〕	○	○	○
かかりつけの医療機関名		○		20

状況把握における標準的な項目（案）



3. 現在の生活環境と健康面について		A	B	C
訪問看護などの医療サービスを利用しているか	<input type="checkbox"/> 有〔利用している事業所名： 〕 <input type="checkbox"/> 無	○		
食物アレルギーの有無	<input type="checkbox"/> 有〔誰が： 原因食物： 〕 <input type="checkbox"/> 無	○		
要介護（支援）認定を受けているか	<input type="checkbox"/> 有〔誰が： 〕 → <input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input type="checkbox"/> 介護区分不明 〔利用している居宅介護支援事業所名： 〕 <input type="checkbox"/> 無	○		
障害者手帳を持っているか	<input type="checkbox"/> 有〔 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 <input type="checkbox"/> 精神障害者保険福祉手帳 <input type="checkbox"/> 療育手帳〕 〔具体的な障害の種類等： <input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 精神障害 <input type="checkbox"/> 発達障害〕 <input type="checkbox"/> 無	○		
デイサービス・ヘルパーなどの福祉サービスを利用されているか	<input type="checkbox"/> 有〔利用している事業所名： 〕 → <input type="checkbox"/> 被災前と変わらず利用の見通しが立っている <input type="checkbox"/> 利用の見通しが立たない <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> 無	○		
災害後の健康状態	<input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 疲労がたまっている <input type="checkbox"/> 日常生活に支障が生じている <input type="checkbox"/> その他〔 〕	○	○	○
精神面	<input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 気持ちが落ち込む <input type="checkbox"/> 不安感が強い <input type="checkbox"/> 気分が高揚している <input type="checkbox"/> その他〔 〕	○	○	○
睡眠	<input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 眠れない <input type="checkbox"/> 何度も目が覚める <input type="checkbox"/> 常に眠い <input type="checkbox"/> その他〔 〕	○	○	○
食欲	<input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 減った	○	○	○
食事量	<input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 減った	○	○	○
食事内容	<input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 変化した 現在の内容 <input type="checkbox"/> 自炊している <input type="checkbox"/> インスタント食品が中心 <input type="checkbox"/> スーパー等のお惣菜が中心 <input type="checkbox"/> 外食が多い <input type="checkbox"/> その他〔 〕	○	○	○

状況把握における標準的な項目（案）



3. 現在の生活環境と健康面について

A B C

調理・食事環境

- 問題ない カセットコンロを使用している 食事を準備できる環境がない 食事を準備する時間がない
 食事を準備する体力がない やる気が起きない その他
 { }

○ ○ ○

車・移動手段

- 自家用車 親戚等の送迎 車両は元々保持していない その他主な移動手段{ }

○ ○ ○

4. 今後の生活再建について

※ 状況把握を行う時期をA：発災直後～1日 B：3日～ C：1・2週間後～ の3つに区分し、時期別に状況把握が必要と考えられる項目に○印を記載している。



4. 今後の生活再建について

A B C

今後の住まい予定

- 自宅に居住
 → 現状のまま 修繕・リフォームを検討
 その他{ }
 転居を検討
 → 公営住宅に申し込む 借家 親戚・知人宅
 仮設住宅 その他{ }
 分からない

○

5. その他

※ 状況把握を行う時期をA：発災直後～1日 B：3日～ C：1・2週間後～ の3つに区分し、時期別に状況把握が必要と考えられる項目に○印を記載している。



5. その他

A B C

その他（困っていること、伝えたいこと）

例：物資が足りない、家屋の再建について相談できていない、行政に説明会を開いてほしいなど、なるべく具体的な声をご記入ください

○ ○ ○

備考

22



- 行政機関等が個人情報を保有・取得・利用・提供する際には個人情報保護法の以下の規律が適用される。
- 行政機関等が個人情報を保有するに当たっては、法令(条例を含む。)の定める所掌事務または業務を遂行するために必要な場合に限り、かつ利用目的を適切に特定する必要があり、その特定した利用目的の範囲内で保有個人情報を利用・提供することが原則である(個人情報保護法第61条第1項、第69条第1項)

保有に関する規律

- 行政機関等は、法令(条例を含む。)の定めに従い適法に行う事務又は業務を遂行するため必要な場合に限り、個人情報を保有することができる。(法第61条第1項)
- 行政機関等は、個人情報の利用目的について、当該個人情報がどのような事務又は業務の用に供され、どのような目的に使われるかをできるだけ具体的かつ個別的に特定しなければならない。(法第61条第1項)
- 行政機関等は、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えて、個人情報を保有してはならない。そのため、個人情報が保有される個人の範囲及び個人情報の内容は、利用目的に照らして必要最小限のものでなければならない。(法第61条第2項)

取得・利用・提供に関する規律

- 行政機関等は、本人から直接書面(電磁的記録を含む。)に記録された当該本人の個人情報を取得するときには、本人が認識することができる適切な方法により、本人に対し、利用目的をあらかじめ明示しなければならない。(法第62条)
- 行政機関の長等は、違法又は不当な行為を助長し、又は誘発するおそれがある方法により個人情報を利用してはならない。(法第63条)
- 行政機関の長等は、偽りその他不正の手段により個人情報を取得してはならない。(法第64条)
- 行政機関の長等は、利用目的の達成に必要な範囲内で、保有個人情報が過去又は現在の事実と合致するよう努めなければならない。(法第65条)
- 行政機関の長等は、「法令に基づく場合」を除き、利用目的以外の目的のために保有個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。(法第69条第1項)

個人情報取扱いに関する同意の取得の例



- 内閣府では、令和4年3月から「防災分野における個人情報の取扱いに関する検討会」を開催し、検討会のオブザーバーである、個人情報保護委員会事務局の助言を受け、「防災分野における個人情報の取扱いに関する指針」を作成。
- 指針では、「応急仮設住宅の入居希望申込書に記載された個人情報を、入居者への生活支援・見守り等のために、民間事業者提供してもよいか」という事例を取り上げており、同意の取得例を示している。

(自治体事例を参考に内閣府作成)

応急仮設住宅入居申込書

入居者情報	氏名	○○○○○○○○○○○○○○
	住所	○○○○○○○○○○○○○○

※取得した個人情報の取扱いに関して、下記のご回答をお願い致します。本回答により入居及び支援実施の判断を行うものではありません。

<p>取得した個人情報は、下記の支援目的に関して下記の支援関係者に提供します。</p> <p>取得した個人情報の利用・情報提供を希望しない場合は、希望しない目的又は情報提供先の□に✓をしてください。</p> <p><取得した個人情報を利用する目的></p> <p><input type="checkbox"/>生活相談、<input type="checkbox"/>訪問活動、<input type="checkbox"/>見守り・心のケア活動、 <input type="checkbox"/>サロン活動、<input type="checkbox"/>避難者の健康管理、<input type="checkbox"/>生活再建支援、 <input type="checkbox"/>被災者に対する情報発信</p> <p><情報提供先></p> <p><input type="checkbox"/>NPO・ボランティア団体、 <input type="checkbox"/>社会福祉協議会</p>	<p>※DVの被害等により個人情報の情報提供を希望しない場合は、希望しない情報提供先について、左のチェックボックスに必ず✓をしてください。</p>
---	---

図 11 (例) 応急仮設住宅入居申込書

個人情報利用目的・提供範囲



- 個人情報の保護と適切な利用のためには、情報を取得する際に、利用目的について適切に明示することが必要。
- 中長期的な被災者の支援を見据えて、地域の実情に応じ、利用目的と提供先を明示して個人情報を取得することを平時から検討しておくことが必要。

利用目的

発災直後～避難所運営段階 行政関係

- ・自治体の関係部局
- ・保健師等
 応援職員
- ・訪問
- ・支援物資の提供
- ・情報の提供

- ・自治体の関係部局
- ・日本赤十字等医療関係者
- ・社会福祉協議会等福祉関係者
- ・NPO等民間支援団体
- ・民生委員・児童委員

発災直後～避難所運営段階 官民連携による被災者支援

- ・訪問・見守り
- ・支援物資の提供
- ・情報の提供
- ・災害ボランティアの紹介

- ・NPO等民間支援団体
- ・民生委員・児童委員
 等

中長期的な被災者の支援 (災害ケースマネジメント)

- ・訪問・見守り
 (アウトリーチ)
- ・自立・生活再建支援方策の検討 (ケース会議)
- ・心のケア活動
- ・避難者の健康管理
- ・情報の提供

- ・自治体の関係部局
- ・社会福祉協議会等福祉関係者
- ・弁護士、建築士等の士業関係者

提供先



避難所		避難所以外
避難所の運営者	対象：避難所に避難している者 目的：避難所の運営・管理、必要な物資数の把握	対象：避難所で物資支援を受ける者 目的：避難所外避難者の把握
DWAT	対象：避難所に避難している災害時要配慮者 目的：災害時要配慮者への福祉的支援の実施	
保健師	対象：避難所に避難している住民 目的：住民の健康管理	対象：地域住民 (優先順位付けを行って実施する場合がある) 目的：住民の健康管理
介護・ 障害福祉サービス 事業者	— ※指定福祉避難所の運営主体となる場合がある	対象：福祉サービスの利用者 目的：利用者への継続的な福祉支援
社会福祉協議会	—	対象：地域住民 (優先順位付けを行って実施する場合がある) 目的：安否確認
自治会・ 自主防災組織	— ※避難所に避難する場合、当該避難所の運営委員会の委員となるなど避難所運営に参画する場合がある	対象：自治会内の住民、隣近所 目的：自治会内部の共助による状況把握
NPO・ボランティア	対象：避難所内の避難者 目的：支援のニーズの把握	対象：在宅避難者等全般 目的：支援ニーズの把握



在宅・車中泊で生活する人 (ペットを飼育される方を含む)

平時から福祉サービスを受けている
要配慮者
(高齢者、障害者、児童等)

平時は福祉サービスを受けていない
要配慮者
(難病患者、外国籍の者、妊産婦 等)

要配慮者以外の者

アウトリーチによる状況把握

避難所・支援拠点に来訪した際に状況を把握

ICT (アプリ等) を活用した情報発信

担い手
福祉事業者/保健師

担い手
保健師/職能団体
(高齢者等把握) /共助

担い手
保健師/自助・共助

外部支援
NPO/災害ボランティア

(参考) 避難所の管理において必要な情報について



- 取組指針において、避難者の数や状況の把握は、食料の配給等において重要となることから、避難者一人一人に 氏名、生年月日、性別、住所、支援の必要性の有無等を記帳してもらい、避難者名簿を作成することが望ましいとしている。
- このほか、内閣府が開発しているクラウド型被災者支援システムに付随する避難所入退所管理アプリの記入項目には、人的被害状況や要配慮者の該当の有無といった避難者の種別、入所日、退所日等が設定されている。

【内閣府クラウド型被災者支援システム・避難所入退所管理アプリ】

項目の例

- ・氏名（フリガナ）
- ・生年月日
- ・年齢
- ・男女の別
- ・郵便番号
- ・住所
- ・居所
- ・入所日
- ・人的被害状況
- ・避難理由
- ・避難者の種別（支援を要する高齢者/乳幼児/障害の種類・程度/一時退所者/その他配慮事項/その他健康状態 等）
- ・避難所外避難者の該当
- ・退所日
- ・退去先及び電話番号

避難所入退管理アプリ
愛宕小学校体育館（020）

The screenshot shows a web form for entering individual information. It includes tabs for 'Evacuation Information', 'Personal ID Information', 'Safety Information', and 'Consultation Status'. The 'Personal ID Information' tab is active, showing fields for:

- 区分: 避・負
- 氏名(必須): [Text Field] フリガナ(必須): [Text Field]
- 出生の年月日: [Date Picker] 年齢: [Text Field] 男女の別: 不明
- 住所(日本): [Text Field] 郵便番号: [Text Field] 郵便番号変換: [Button] 外字あり:
- 住所: [Text Field]
- 方書: [Text Field]
- 入所日: 西暦 2023年09月21日 本日入所 人的被害状況: なし
- 避難理由: 不明
- 種別: 支援を要する高齢者 乳幼児 障害の種類・程度 一時退所者 台帳情報提供抑止フラグ その他配慮事項

総避難者数	避難所外避難者数	食事	入浴	自力で米所不可能	一時退所者	支援を要する高齢者	乳幼児	障害の種類・程度
136人	6人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

[CSV作成](#)
[安全情報\(武力攻撃事等\)](#)
[安全情報\(自然災害\)](#)

DV等支援措置対象者(台帳情報提供抑止フラグにチェックが付いている)の連絡先(住所、電話番号等)を除いて提供する

1~10 / 合計138件 < 1 2 3 4 5 ... 14 > 10 / ページ

避難所	世帯番号 識別番号 氏名	性別 年齢	避難理由	避難所 外 一時退 所	食事 支援を 要する 高齢者	入浴 乳幼児	米所不 可 障害の 種類、 程度	入所日 退所日	住所 退所先及び電話番号	編集 削除
鈴鹿ハンター	0000 224207000000012 藤山 玲菜	女 80歳	不明	無 無	無 無	無 無	無 無	入: 2023年4月 25日 退:	三重県鈴鹿市広瀬町2 6 9 3 - 1	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
鈴鹿ハンター	0001 900000000000005 ゆき 清田	男 59歳	不明	有 無	無 無	無 無	無 無	入: 2023年5月 29日 退:	愛知県豊田市新町3丁目60番地	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

(参考) 医療・保健・福祉分野共通のアセスメント調査票について



- 令和元年度医療・保健・福祉と防災の連携に関する作業グループにおける議論の取りまとめについて（厚生労働省大臣官房厚生科学課健康危機管理・災害対策室令和2年5月7日付事務連絡）において、**医療・保健・福祉関係者が分野横断的に被災者の被災状況を直ちに把握し、共有することを目的に作成された被災者に関するアセスメント調査票**が示されている。

災害発生直後において把握しなければならない基本的な調査項目として、下記が示されている。

- ・被災者の住まいの被災状況、ライフラインの状況
- ・被災者本人やご家族の被災状況
- ・避難所の利用の有無

これらの基本的な調査項目については、医療チームや災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）をはじめ被災状況を最初に把握する主体が確認し、そこで得られた情報を保健チームや福祉チームなど他の専門職チームと共有することで、被災者に対するアセスメントが反復、重複することを回避できるとされる。

避難者に関するアセスメント調査票

調査票を配布した避難所名：

被災者アセスメント調査票

この調査票は、被災状況を直ちに把握し、適切に関係機関と共有することを目的とした調査票であり、本調査票に記載いただいた情報の共有に当たっては、災害時における支援活動のために使用いたします。

記入者のお名前：	記入日時： 月 日 時 分
記入者の生年月日：	年齢： 性別：
自宅住所：	固定電話：
	携帯電話：
記入者を含む被災された方の世帯人数：	

1 被災状況

被災により使用できなくなったライフライン	<input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> インターネット通信
家屋(建物)の被害の状況	<input type="checkbox"/> 家屋に極めて大きな被害があった (家が濡れてしまった、家が倒壊した、家が土砂によって埋没したなど) <input type="checkbox"/> 家屋に修繕が必要な程度の大きな被害があった(瓦が落ちた、外壁がはがれたなど) <input type="checkbox"/> 家屋に被害があった 被害の概況： <input type="checkbox"/> 被害はなかった

2 現在の御自身の状況や、御自身と一緒に避難している御家族の状況

現在の宿泊場所	<input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 知人宅 <input type="checkbox"/> 車中泊 <input type="checkbox"/> その他	
避難所の利用	<input type="checkbox"/> 利用している (<input type="checkbox"/> 応急給水 <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 生活物資 <input type="checkbox"/> 入浴 <input type="checkbox"/> 行政やボランティア等から提供される各種の情報 <input type="checkbox"/> 利用していない)	
医療サポートを利用されているか。	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 在宅酸素 <input type="checkbox"/> 透析 <input type="checkbox"/> インスリン注射 <input type="checkbox"/> 緊急性のある精神疾患 <input type="checkbox"/> 緊急治療歯科疾患 <input type="checkbox"/> 要緊処置妊婦 <input type="checkbox"/> 定期的投薬が必要 (現在、〔 中断・継続 〕) <input type="checkbox"/> 降圧薬 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 向精神薬 <input type="checkbox"/> その他 (医薬品名：)	
かかりつけの医療機関名	<input type="checkbox"/> 有 (利用している事業所名：)	
訪問看護などの医療サービスを利用されているか	<input type="checkbox"/> 有 (利用している事業所名：)	
妊産婦や乳幼児の方がいるか	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	食物アレルギーを有しているか <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (原因食物：)
要介護(支援)認定を受けているか	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input type="checkbox"/> 介護区分不明) (利用している居宅介護支援事業所名：) <input type="checkbox"/> 無	
障害等手帳をお持ちか	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 <input type="checkbox"/> 療育手帳) (具体的な障害の種類等： <input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 精神障害 <input type="checkbox"/> 発達障害) <input type="checkbox"/> 無	
デイサービス・ヘルパーなどの福祉サービスを利用されているか	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 被災前と変わらず利用の見通しが立っている <input type="checkbox"/> 利用の見通しが立たない <input type="checkbox"/> わからない) (利用している事業所名：) <input type="checkbox"/> 無	
その他	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

本調査票に記載した情報を、地方自治体が設置する避難所の管理者、当該地方自治体の災害対策本部及び保健医療福祉調整本部等において共有することに同意します。

年 月 日 氏名 _____

(参考) 令和3年8月豪雨の際に大町町で使用した調査票



- 佐賀県大町町では、令和3年8月豪雨の際に、個別訪問により、在宅避難者の状況把握を実施。
- 訪問ヒアリングシートの統一化（行政職員・保健師、社協、NPO）を実施し、各セクターと情報共有することで、情報集約の効率化と住民の負担を軽減。
- 世帯情報のほか、被害の状況、健康面の課題、罹災証明の申請状況、その他困りごと等を聞き取り項目としている。

被災者番号:

訪問ヒアリング記録シート

ヒアリング日	2021年 月 日 ()	時間	: ~ :
ヒアリング担当者		所属	

【1】世帯の情報

世帯主名	地区名	地区	階
話した方			
家族構成	▼当てはまるものにチェック <input type="checkbox"/> 高齢者世帯 <input type="checkbox"/> 乳児 <input type="checkbox"/> 幼児 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 家族が入院中 <input type="checkbox"/> 家族が施設入所中 <input type="checkbox"/> 障害者がいる <input type="checkbox"/> 要介護者がいる <input type="checkbox"/> ペットがいる (種類:) 名 <input type="checkbox"/> その他 ()		
現在の居場所	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 親戚宅 <input type="checkbox"/> 車中泊 (場所:) <input type="checkbox"/> 避難所 (場所:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

【2】被害の状況

罹災証明申請	<input type="checkbox"/> 申請済み (判定結果:) <input type="checkbox"/> 未申請 (申請していない理由:)
被害状況 ※複数選択可	<input type="checkbox"/> 床上浸水 (浸水深: 約 cm) <input type="checkbox"/> 土砂がある <input type="checkbox"/> 床下が溢れている <input type="checkbox"/> 床、壁が濡れている <input type="checkbox"/> カビが生えている <input type="checkbox"/> 悪臭がする <input type="checkbox"/> よく分からない <input type="checkbox"/> その他 ()
2年前の被害状況 ※複数選択可	<input type="checkbox"/> 2年前も今年もほぼ同じ <input type="checkbox"/> 2年前は床上浸水だった <input type="checkbox"/> 2年前は床上浸水だった (浸水深: 約 cm) <input type="checkbox"/> 2年前は被害なし
被災後の片付け	<input type="checkbox"/> 自分や家族、知人等で片付け・清掃を行い、完了した <input type="checkbox"/> 災害ボランティアセンターへ依頼した (依頼内容:) →駆除: <input type="checkbox"/> 活動が完了した <input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 追加で頼みたい <input type="checkbox"/> まだ来ていない <input type="checkbox"/> 災害ボランティアセンターへ依頼していない →依頼していない理由: <input type="checkbox"/> 頼み方が分からない <input type="checkbox"/> 連絡手段がない <input type="checkbox"/> 何を頼めるのかわからない <input type="checkbox"/> 災害ボランティアセンターを知らない <input type="checkbox"/> ボランティアに入ってほしくない <input type="checkbox"/> その他 ()
ライフライン等の 復旧状況 ※複数選択可	<input type="checkbox"/> すべて復旧している <input type="checkbox"/> 復旧がまだのものがある → <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> ケーブルTV <input type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> お風呂 <input type="checkbox"/> 給湯機 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 冷蔵庫 <input type="checkbox"/> 電子レンジ <input type="checkbox"/> エアコン <input type="checkbox"/> その他 ()

【3】今後の生活再建について

今後の住まい予定	<input type="checkbox"/> 自宅 (1階・2階以上) <input type="checkbox"/> 公営住宅 <input type="checkbox"/> のみなし仮設 <input type="checkbox"/> 親戚宅 <input type="checkbox"/> その他 ()
自宅の再建予定	<input type="checkbox"/> 家財の搬出と清掃のみで修繕はしない <input type="checkbox"/> 修繕を検討 <input type="checkbox"/> 解体を検討 <input type="checkbox"/> 別の場所に移り住む (検討場所:) <input type="checkbox"/> その他 ()

【4】現在の生活環境と健康面について

既往歴・治療中	<input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 持病がある (誰が:) →病名:	▼高血圧 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (誰が:) ▼糖尿病 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (誰が:)
受診の状況	<input type="checkbox"/> 受診する必要がない <input type="checkbox"/> 問題なく受診できている (誰が:) →病院名: <input type="checkbox"/> 受診できていない/困難がある (誰が:) →理由: <input type="checkbox"/> 病院がやっていない <input type="checkbox"/> 移動手段がない <input type="checkbox"/> 行く時間がない <input type="checkbox"/> 行く気が起きない <input type="checkbox"/> その他 ()	
内服の状況	<input type="checkbox"/> 薬を服用していない <input type="checkbox"/> 問題なく服用できている (誰が:) <input type="checkbox"/> 服用できていない/困難がある (誰が:) →理由: <input type="checkbox"/> 受診できていない <input type="checkbox"/> 薬局がやっていない <input type="checkbox"/> 移動手段がない <input type="checkbox"/> 行く時間がない <input type="checkbox"/> 行く気が起きない <input type="checkbox"/> その他 ()	
災害後の健康状態	<input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 疲労がたまっている <input type="checkbox"/> 日常生活に支障が生じている <input type="checkbox"/> その他 ()	
精神面	<input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 気持ちが落ち込む <input type="checkbox"/> 不安感が強い <input type="checkbox"/> 気分が高揚している <input type="checkbox"/> その他 ()	
睡眠	<input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 眠れない <input type="checkbox"/> 何度も目が覚める <input type="checkbox"/> 常に眠い <input type="checkbox"/> その他 ()	
食欲	<input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 減った	食事量 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 減った
食事内容	<input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 変化した ▼現在の内容 <input type="checkbox"/> 自炊している <input type="checkbox"/> インスタント食品が中心 <input type="checkbox"/> スーパー等のお惣菜を購入している <input type="checkbox"/> 外食が多い <input type="checkbox"/> その他 ()	
調理・食卓の環境	<input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> カセットコンロを使用している <input type="checkbox"/> 食事を準備できる環境がない <input type="checkbox"/> 食事を準備する時間がない <input type="checkbox"/> 食事を準備する体力がない <input type="checkbox"/> やる気が起きない <input type="checkbox"/> その他 ()	
車・移動手段	<input type="checkbox"/> 自家用車 <input type="checkbox"/> 親戚等の送迎 <input type="checkbox"/> 車中は元々保持していない <input type="checkbox"/> その他主な移動手段 ()	

【5】その他

その他 困っていること 伝えたいこと 備考	例) 物資が足りない、家財の再建について相談できていない、行政に説明会を開いてほしいなど、なるべく具体的な声をご記入ください。	
継続支援の必要性	<input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> その他 ()	
情報のご提供	<input type="checkbox"/> 渡した <input type="checkbox"/> 渡していない	▼お渡ししたチラシ類

(参考) NPOによる状況把握の例 (レスキューストックヤード)



- 令和元年台風19号の際に、NPO法人レスキューストックヤードは、長野市豊野区で在宅避難者の支援を実施。
- 世帯情報のほか、住まいの被災状況や健康状態、生活の困りごと、罹災証明の取得状況、その他相談したいことなどを聞き取りの項目としている。

調査期間：10月29日～11月4日 回答者数：110名

在宅支援訪問プロジェクト・訪問シート		自治会・町内会名	地図番号	コード番号(運営で記入します)
			- -	
		(ページ数-アルファベット-数字)		
お名前		様		
世帯	住所	町		
	世帯人数	□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8その他()		
	世帯の状況	□1高齢者のみ □2要介護者がいる □3 障害者がいる(具体的に:) □4妊産婦がいる □5乳幼児がいる □6 外国人がいる □7 その他		
	子育て	□1無 □2有(□①困っていない □②困っている)		
	介護	□1無 □2有(□①困っていない □②困っている)		
住まいについて	自宅の形態	□1持ち家 □2借家・賃貸 □3親戚・知人宅 □4その他() □1木造(□①平屋 □②2階建て以上) □2鉄筋・鉄骨(階) □3マンション(階)		
	被害状況	□1床上浸水 □2床下浸水 □3宅地浸水 □4被害なし □5その他()		
	現在の住まい	□1自宅 □2避難所 □3親戚・知人宅 □4その他()		
	復旧状況	□1作業終了 □2作業中 □3作業未着手(依頼済み) □4作業未着手(未依頼) □5その他		
	今後の住まい	□1自宅に居住→□①現状のまま ②修理・リフォームを検討 □③その他() □2転居を検討→□①公営住宅に申込み □②借家 □③親戚・知人宅 □④仮設住宅 □⑤その他() □3わからない		
健康	医療	1病院 □①通院無 □②通院中 □③通院先被災 □④不明() 2治療 □①治療無 □②治療中() 3薬 □①薬無 □②薬のんでいる()		
	症状	1今ある症状 □①痛み(膝、腰、他) □②けが □③風邪等(熱、だるさ、セキ他) □④不眠 □⑤食欲不振 □⑦排せつ(□便秘 □その他) 2使っていた物□①無 □②有 □③紛失(今後→) 2相談ごと □①無 □②有 (相談先)		

●各項目について困りごとや心配なことの有無と状況を確認								
生活について	水道	□1使える(月 日～) □2使えない(どうしているか)						
	入浴	現在の居場所で □1入れる □2入れない(どうしているか)						
	トイレ	□1使える □2使えないない(どうしているか)						
	電気	□1使える(月 日～) □2使えない(どうしているか)						
	電話	□1使える(月 日～) □2使えない(どうしているか)						
	台所(調理)	□1使える □2使えない(どうしているか)						
	洗濯	□1できる □2できない(どうしているか)						
	通勤・通学	□1困っていない □2困っている()						
	買い物	□1困っていない □2困っている()						
	制度	り災証明	□1申請済み(□未発行 □発行済み(□全壊 □大規模半壊 □半壊 □床下浸水) □2未申請					
	ポラセン	□1依頼済み(□対応済み □未対応) □2依頼しない						
健康	●相談したいことなど							
	その他							
結果	初回訪問日	訪問者名	結果	2回目訪問日	訪問者名	結果	対応完了日	
			面接済 不在 面接以外			面接済 不在 面接以外		
…以下長野県災害時支援ネットワーク記載…								
判定	課題なし	課題あり	1身体	2精神	3生活	4住宅	5申請	6その他()
対応者	町		健康	包括	その他	【備考】		
	社協		他					
	ボラ		未定					



- ◇ 状況把握における標準的な項目（案）について、避難者等の状況や支援の実施に利用するという観点から、項目及びその内容について追加、修正等すべき事項があるか。
また、状況把握における標準的な項目（案）で示した把握のタイミングについて、避難者等の状況や支援の実施に利用するという観点で適切と考えてよいか。

- ◇ 個人情報の利用目的や提供の範囲について、追加すべき利用目的や提供先はあるか。
また、個人情報の保護の観点から、利用に当たって留意すべき点や提供先の設定に当たって留意すべき点はあるか。